

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスいるか		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の研修(内部・外部)を受講する機会や事業所内で参加できる機会を確保している。	研修参加できるよう業務調整を行い、研修機会の確保に努めている。	・研修などにより職員の質の向上を図る ・内部研修の年間計画を立て職員が参加しやすいよう環境設定を行う。
2	子どもたちの変化や成長を共有している。	四季を感じるプログラムや子どもに合わせた活動プログラムの工夫を行っている。	個別支援計画の確認と見直しを行う。
3	子どもたちが考え、話し合い、決めていく場を設けている。	学校休暇など、長期休暇中には中高生の会を設け個々人の話を聞く機会を作っている。	帰りの会などに担当を決め参加できるようにする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動に比重がおかれ、個別課題の位置づけが弱い。	各年齢にあった最善の支援を行っていく。	異年齢集団の中で個々の落ち着いた時間を環境を確保できるブースを作っていく。
2	コロナ以降、保護者の集まれる機会が減ってしまった。	保護者支援を強化していく。	親子で取り組める行事や懇談会を企画していく。
3	社会参加・移行支援の具体的内容がうすい。	移行支援の申し送り等を取り組んでいく。	移行していく事業者などへ職員が見学を行い、移行にあった具体的な支援計画などを作成していく。